

新しい公共の担い手づくりを目指して 〜尼崎発の交響曲が鳴り響く〜

特定非営利活動法人シンフォニー

阪神・淡路大震災 直後の尼崎でスタート

大震災直後の尼崎の避難所や仮設住宅の状況を、「混乱の極み」と振り返るのは、NPO法人シンフォニー代表理事の山崎勲さん。

「当時は、助成金もなく事業は寄付金だけでまかなっていた」と話し出すと、山崎さんの口から苦労話が続々と出てきた。「今はひょうごボランティアプラザもあるし助成制度もある。いろんな面で整備されている」。

「17を機に山崎さんは、仮設住宅での「コミュニティづくり」などの活動を始め、平成11年に法人格を取得。以来、ボランティア活動を支援する「中間支援を軸に活動を続けてくる」。

ユニークな活動を 「見える化」

シンフォニーは、平成18年から県の事業「生きがいしごとサポートセンター 阪神南」を受託運営し、年



間20〜25のボランティア団体の立ち上げを支援している。

「17以降、ボランティア団体やNPOがたくさんでき、社会的に認知されてきたが、小さな団体にはなかなかスポットが当たらない。そこで、山崎さんは、ホームページ上にボランティアのチャンネル「ひょうごVチャンネル」を作り、動画配信を始めた。「県内の小さくてもユニークな活動をしている団体をすくいとりたい」と考えている。

東日本大震災被災者支援 「東北・関西」架け橋 プロジェクト

昨年9月に尼崎市立労働福祉会館で開催したチャリティーコンサートは、出演者も音響スタッフもみんなボランティアで、収益は「東北・関西」架け橋プロジェクトに寄付された。

「みんなで力を合わせて、東日本大震災被災地と関西の間で、人、モノ、情報に乗せたバスを走らせよう!」と呼びかけ、500枚の前売り券が完売した。山崎さんは「コンサートはプロジェクトの資金作りを目的とした寄付システムの二環で、将来的には1万人規模の寄付組織を作りたい」と目標を掲げる。

月に一度バスを走らせるこのプロジェクトは、ボランティア団体や、県外被災者の一時帰省に利用されてきた。

今後は、近畿2府4県のNPOとの連携事業も展開していく予

定だ。

「17での尼崎の経験を生かしたシンフォニーならではの活動に多くの団体が共鳴し、新しいハローを響かせている。」

生きがいしごとサポートセンターとは…NPO法人が運営する「生きがいしごとサポートセンター」は兵庫県の補助を受け、「コミュニティビジネスやNPO等での就業・起業について、相談アドバイスや無料職業紹介、ボランティア幹旋、各種セミナーなどを実施。

■NPO法人 シンフォニー

代表理事 山崎 勲
〒660-0861
兵庫県尼崎市御園町5 尼崎土井ビル2階
TEL:06-6412-8025/FAX:06-6412-8444
URL:<http://npos.cc/>

■生きがいしごとサポートセンター 阪神南
TEL:06-6412-8448/FAX:06-6412-8444
URL:<http://ikisapo.npos.biz/>